

### 複素数の極形式

複素数平面上で、0 でない複素数  $z = a + bi$  を表す点を P とする。  
 このとき、右の図のように、OP の長さを  $r$ 、OP と実軸の正の向き  
 とのなす角を  $\theta$  とすると、

$$\frac{a}{r} = \cos \theta, \quad \frac{b}{r} = \sin \theta$$

であるから、

$a =$  \_\_\_\_\_ ,  $b =$  \_\_\_\_\_ と表される。このことより、複素数  $z$  は、

$$z = a + bi = r \cos \theta + (r \sin \theta)i = r(\cos \theta + i \sin \theta)$$

という形で表されることになる ( $r > 0$ )。これを複素数の**極形式**という。

$r$  は複素数  $z$  の絶対値  $|z|$  に等しいから、 $r = \sqrt{\quad}$

角  $\theta$  を、複素数  $z$  の**偏角**といい、\_\_\_\_\_ で表す。

複素数の偏角  $\theta$  は、 $0^\circ \leq \theta < 360^\circ$  の範囲に限定すれば、ただ 1 通りに定まる。一般には、偏角は  $\theta + 360^\circ \times n$  ( $n$  は整数) と表す。

### 問題 1 次の複素数を極形式で表せ。

(吉教科書 p.92 問 8)

- (1)  $1 + i$       (2)  $-1 + \sqrt{3}i$       (3)  $3 - \sqrt{3}i$       (4)  $-i$       (5)  $3$       (6)  $\frac{-1 - \sqrt{3}i}{2}$

※  $z = r(\cos \theta + i \sin \theta)$  のとき、 $\bar{z} = r\{\cos(-\theta) + i \sin(-\theta)\}$ ,  $\frac{1}{z} = \frac{1}{r}\{\cos(-\theta) + i \sin(-\theta)\}$

### 積の極形式

#### ● 積の極形式 ●

$$z_1 = r_1(\cos \theta_1 + i \sin \theta_1), \quad z_2 = r_2(\cos \theta_2 + i \sin \theta_2) \text{ のとき,}$$

$$z_1 z_2 = r_1 r_2 \{\cos(\theta_1 + \theta_2) + i \sin(\theta_1 + \theta_2)\}$$

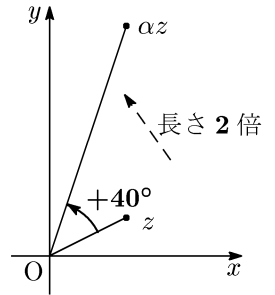
### 問題 2 $z_1 = 3(\cos 20^\circ + i \sin 20^\circ)$ , $z_2 = 2(\cos 30^\circ + i \sin 30^\circ)$ のとき、積 $z_1 z_2$ を極形式で表し、その絶対値と偏角を求めよ。

(吉教科書 p.93 問 9)

**例 1** 複素数  $z = r(\cos \theta + i \sin \theta)$  に、別の複素数  $\alpha = 2(\cos 40^\circ + i \sin 40^\circ)$  を掛けると、

$$\alpha z = 2r\{\cos(\theta + 40^\circ) + i \sin(\theta + 40^\circ)\}$$

となる。絶対値は  $2r$  に、偏角は  $\theta + 40^\circ$  になっている。つまり、 $\alpha$  を掛けることにより、 $z$  は  $40^\circ$  回転し、さらに原点からの長さが 2 倍になったことになる。



● 複素数の積の図形的意味 ●

複素数  $z$  に複素数  $\alpha$  を掛けると、 $z$  は  $|\alpha|$  倍に伸び(縮み)、原点を中心に  $\arg \alpha$  だけ回転する。

特に、 $z$  に  $i$  を掛けると、 $i = 1(\cos 90^\circ + i \sin 90^\circ)$  であることから、 $z$  は 1 倍に伸び(つまり長さは変わらず)、原点を中心に  $90^\circ$  回転する。

**問題 3**  $\alpha = 1 + \sqrt{3}i$  のとき、次の  $z$  に対して、積  $\alpha z$  を作図せよ。

(吉教科書 p.94 問 10)

- (1)  $z = 1$                       (2)  $z = 2i$                       (3)  $z = \sqrt{3} - i$

**問題 4**  $z = 1 + i$  とするとき、点  $z$  を原点のまわりに  $60^\circ$ 、および  $-90^\circ$  回転した点を表す複素数を求めよ。

(吉教科書 p.94 練習 3)

商の極形式

● 商の極形式 ●

$z_1 = r_1(\cos \theta_1 + i \sin \theta_1)$ ,  $z_2 = r_2(\cos \theta_2 + i \sin \theta_2)$  のとき、

$$\frac{z_1}{z_2} = \frac{r_1}{r_2} \{\cos(\theta_1 - \theta_2) + i \sin(\theta_1 - \theta_2)\}$$

**問題 5**  $z_1 = -1 + \sqrt{3}i$ ,  $z_2 = 1 + i$  のとき、商  $\frac{z_1}{z_2}$  を極形式で表せ。

(吉教科書 p.95 問 12)